

(別記)

令和5年度丹波篠山市地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

<現状（令和4年度）>

丹波篠山市は水稻を基幹作物として、特産物である「黒大豆」「枝豆」「山の芋」「大納言小豆」等を組み合わせた輪作体系を取り入れ、地域の気候風土に合った特色のある農作物生産を展開している。しかしながら、零細で分散型の農地所有が多く米の生産費は全国平均より割高と推計される。

当該地域は、全水田面積に占める主食用米面積の割合が約60%となっている。転作作物では黒大豆が占める面積が多く、土地利用型作物の担い手への集積が進んでいる。今後、主食用米の需要が減少する中、他の作物への作付転換を促進することで、水田面積の維持を図っていく必要がある。

<課題>

平成30年産からの新たな米政策及び、令和2年からの新型コロナウイルスの影響もあり、需要に応じた米の生産、丹波篠山の特産物の生産強化がこれまで以上に重要となってきた。このため、丹波篠山市地域農業再生協議会では、丹波篠山市水田活用方針に基づき、平成29年度の特産物の作付面積の維持とその拡大につながる特産物の生産目標面積を各集落に示し、特産物の生産の推進を図っている。

しかし、主食用米と主要な特産作物とを栽培する生産体制が確立されていること、農家の高齢化や農家戸数の減少が進み、主食用米から手のかかる他の転作作物へ転換するだけの余力がないことから、地域的耕作条件の良くない農地における不作付地の拡大が徐々に進んでいる。

2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

黒大豆・枝豆・山の芋等の特産物は農業経営を支えるうえで、重要な農産物であることから、引き続き積極的な生産振興を図りつつ、現状面積を維持する。

<安定生産と低コスト化>

- 関係機関と連携し、営農指導の充実や気候、ほ場状態の情報を周知し、病虫害発生の予察に基づく適期防除の実施や適切な水管理により生産量の安定、品質の向上を図る。
- 集落組織による、機械の共同利用や共同購入を図り、戸別の生産コストの抑制と省力化を推進する。
- 特産作物の団地化栽培を推進することで、農作業の効率化、集落営農組織の活性化を図る。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

農地の利用権設定の利用集積により経営規模を拡大し、効率的な生産を行う経営体が存在する一方で、依然として小規模稲作農家が大部分を占めている。集落ぐるみによる営農経営体の育成を図っているが、高齢化や少子化の進行と農業機械の高騰により、組織の維持や機械の更新が困難になっている地域がある。市内では、米の生産調整規模が拡大してきた中で、転作作物である黒大豆が多く栽培され、市内農家の多くが面積の大小に関わらず栽培しているが、共同栽培やブロックローテーションなど効率的な生産体系を実施している所は少ない。

本市が誇る黒大豆、枝豆、山の芋、小豆などの特産農産物の生産振興を引き続き推進し、優良水田を十分に活用できる環境づくりを通じて農業者の所得向上を図ることを方針

とする。

また、特産物の団地化栽培を推進し、集落内での効率的なブロックローテーションにつなげるとともに、水稻の作付けが見込まれない農地については、作付体系を定期的に点検し、特産農産物振興を踏まえた畑地活用等を検討していく。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

良食味米の生産技術や環境創造型農業の普及による付加価値の高い米づくりにより、ブランド化、高品質化を進めるとともに、農地集積・集約化による規模拡大や低コスト化を推進してきた。

今後も黒大豆など転作作物の生産維持を図りつつ、水稻との輪作体系による健全な水田活用を進める。

また、売れる米づくりにむけて、化学肥料や農薬の使用を低減し、自然環境に配慮した米づくりを推奨するなど、関係団体や農業者の意識改革に取り組み、「良質」「安心・安全」「低コスト」な米づくりの推進を図る。

(2) 備蓄米

備蓄米の作付けは行っておらず、今後の予定もない。

(3) 非主食用米

ア) 飼料用米

飼料用米は、畜産農家の減少に伴う需要量減少の懸念があることから、自給飼料生産の推進と地域内での耕畜連携の取組をさらに進めることにより、今後も現状の作付面積を維持していく。

イ) 米粉用米

学校給食用の米粉パンの需要に対応するため現状の作付面積を維持する。

ウ) 新市場開拓用米

業務用の新たな市場開拓を検討する。

エ) WCS用稲

耕畜連携の推進及び市内畜産農家の増頭計画、飼料価格の高騰などから、市内需要の拡大が見込まれることから、畜産農家と連携して作付けを拡大する。

オ) 加工用米

学校給食用、米粉用等の需要に対応するため現状の作付面積を維持する。

(4) 麦、大豆、飼料作物

農業経営を支えるうえで、重要な特産農産物である黒大豆の生産量の安定を図るため、引き続き積極的な生産振興を図り、現状面積を維持する。

団地化栽培によりブロックローテーションを推進することで地力の維持に努め、高品質な黒大豆の栽培につなげる。

(5) そば、なたね

地域の実需者との契約に基づき現状の作付面積を維持する。

(6) 地力増進作物

関係機関と連携し、本市の作付け特徴に応じた地力増進作物の栽培を推奨し、高品質な農作物の栽培につなげる。

(7) 高収益作物

えだまめ、ピーマン、山の芋、小豆、うすいえんどうを振興品目として、生産振興及び産地交付金を活用し、作付面積の維持・拡大を図る。

5 作物ごとの作付予定面積等

8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和5年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	2141.26	0	2141	0	2250	0
備蓄米	0	0	0	0	0	0
飼料用米	37.89	0	38	0	10	0
米粉用米	0	0	0	0	0	0
新市場開拓用米	0	0	0	0	0	0
WCS用稲	4.25	0	5	0	5	0
加工用米	71.76	0	75	0	80	0
麦	5.84	0.49	6	0.5	4	0
大豆	576.83	4.82	600	4.8	600	0
飼料作物	8.41	0.68	10	0.7	10	0
・子実用とうもろこし	0	0	0	0	0	0
そば	2.14	0	3	0	3	0
なたね	0	0	0	0	0	0
地力増進作物	3.38	0	3.4	0	0	0
高収益作物	529.33	1.1	536.4	1.1	545	0
・野菜	393.61	0.86	400	0.9	387.5	0
・花き・花木	11.97	0	12	0	9.5	0
・果樹	94.12	0	94.4	0	96	0
・その他の高収益作物	29.63	0.24	30	0.2	52	0
その他	3.3	0	3.2	0	0	0
・学校給食野菜	1.6	0	1.7	0	0	
・地域伝統作物	1.7	0	1.5	0	0	0
畑地化	0	0	0	0	0	0

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	用途名	目標	目標値	
				前年度（実績）	目標値
1	えだまめ	えだまめ	取組面積拡大	（令和4年度） 176.9ha	（令和5年度） 171.0ha
2	山の芋	山の芋	取組面積拡大	（令和4年度） 20.2ha	（令和5年度） 26.0ha
3	小豆	小豆	取組面積拡大	（令和4年度） 20.2ha	（令和5年度） 36.0ha
4	ピーマン	ピーマン	取組面積拡大	（令和4年度） 0.8ha	（令和5年度） 1.5ha
5	野菜：茄子、トマト、キュウリ等（対象作物一覧表のとおり） 花き：花き、花木等（対象作物一覧表のとおり） その他：落花生等（対象作物一覧表のとおり）	一般野菜・花き	取組面積拡大	（令和4年度） 36.9ha	（令和5年度） 39.5ha
6	うすいえんどう	うすいえんどう（二毛作）	取組面積拡大	（令和4年度） 0.4ha	（令和5年度） 0.5ha
7	野菜：茄子、トマト、キュウリ等（対象作物一覧表のとおり） その他：小豆、落花生等（対象作物一覧表のとおり）	有機JAS認定作物	取組面積拡大	（令和4年度） 9.9ha	（令和5年度） 10.0ha
8	WCS用稲、飼料用米、飼料作物	耕畜連携助成（わら利用、水田放牧、資源循環）	取組面積拡大	（令和4年度） 9.7ha	（令和5年度） 2.0ha
9	麦、大豆、飼料作物、飼料用米、米粉用米、WCS用稲、加工用米、そば、なたね	二毛作助成の取組（戦略作物）	取組面積拡大	（令和4年度） 6.0ha	（令和5年度） 3.0ha
10	たまねぎ、青ネギ、白菜、にんじん、きゅうり、かぼちゃ、ほうれん草、大根、キャベツ、水菜、じゃがいも、菜の花、さつまいも、にら、にんにく	学校給食用野菜助成	取組面積拡大	（令和4年度） 1.6ha	（令和5年度） 1.5ha
11	住山ごぼう 大山すいか 天内芋	地域伝統作物助成	取組面積拡大	（令和4年度） 1.7ha	（令和5年度） 2.0ha
12	黒大豆 えだまめ（早生を除く黒大豆）	団地化栽培（黒大豆/黒枝豆）	取組面積拡大	（令和4年度） 1.0ha	（令和5年度） 3.0ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

新様式(公表用)

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:

協議会名: 丹波篠山市地域農業再生協議会

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	えだまめ	1	10,000	えだまめ	作付面積に応じて支援
2	山の芋	1	35,000	山の芋	作付面積に応じて支援
3	小豆	1	11,000	小豆	作付面積に応じて支援
4	ピーマン	1	10,000	ピーマン	作付面積に応じて支援
5	野菜・花き	1	10,000	野菜(別表のとおり)・花き	作付面積に応じて支援(10a以上作付け者のみ)
6	うすいえんどう(二毛作)	2	8,000	うすいえんどう+戦略作物の組み合わせのみ	作付面積に応じて支援
7	有機JAS加算	1	25,000	別表のとおり	有機JAS認定作物の作付面積に応じて支援(加算)
8	耕畜連携助成	3	13,000	飼料作物・飼料用米・WCS用稲	わら利用、水田放牧、資源循環のいずれかで連携の相手方との間に3年間以上の利用供給協定を締結した農業者を支援
9	二毛作助成の取組(戦略作物)	2	15,000	麦・大豆・飼料作物・飼料用米・米粉用米・WCS用稲・加工用米・そば・なたね	作付面積に応じて支援(作物ごとに個別要件あり)
10	学校給食野菜助成	1	40,000	たまねぎ・青ネギ・白菜・にんじん・きゅうり・かぼちゃ・ほうれん草・大根・キャベツ・水菜・じゃがいも・菜の花・さつまいも・にら・にんにく	作付面積に応じて支援
11	地域伝統作物助成	1	20,000	住山ごぼう・大山すいか・天内芋	作付面積に応じて支援
12	団地化加算	1	20,000	黒大豆・えだまめ(黒大豆)	対象面積に応じて支援(1団地1ha以上対象)

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的な要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

対象作物一覧表

区分	作物等名	作物コード	整理番号
表	小麦	1 0 0	9
	小麦(種子用)	1 0 1	9
	六条大麦	1 0 2	9
	二条大麦	1 0 4	9
	はだか麦	1 0 6	9
	青大豆	1 0 9	9
	白大豆(一般)	1 2 2	9
	白大豆(契約)	1 2 3	9
	白大豆(種子用)	1 1 2	9
	黒大豆	1 1 0	9 12
大豆	黒大豆(種子用)	1 1 1	
	青刈りとうもろこし	1 2 4	8 9
	ソルガム(青刈りソルガム、スーダングラス)	1 2 5	8 9
	わら専用種	1 1 3	8 9
	その他青刈り(テオシント、青刈り麦、青刈り大豆、しこくびえ、青刈りひえ)	1 2 6	8 9
	永年性牧草(オーチャードグラス、テモニー、トルフェスク、メードフェスク、ハビアグラス、アルファルファ、ケンタッキーブルーグラス、アカクロパー、シロクロパー、ペレニアルライグラス、ルーカナリーグラス、飼料用シバ)	1 2 7	8 9
	イタリアンライグラス	1 2 8	8 9
	その他一年性牧草(ギニアグラス、カードギニアグラス、ローズグラス、ハラグラス、パンゴラグラス、ネピアグラス、オオクサキビ)	1 2 9	8 9
	飼料用根菜類(飼料用かぶ、飼料用ビート)	1 3 0	8 9
	飼料用穀類(子実用えん麦)	1 3 1	8 9
雑穀	青刈りハトムギ(飼料用)	1 3 2	8 9
	子実用はと麦	1 2 1	8 9
	その他飼料作物	1 3 3	8 9
	その他飼料作物(資源循環非対象)	1 3 4	8 9
	飼料用青刈り種	1 5 7	8 9
	福寿草類飼料用種(専用種)クサノホシ、クサユタカ、クサホナミ、リーフスター、はまさり、ホシアオハ、タカナリ、兵糸飼78号(兵庫牛若丸)、夢あおば	1 3 5	8 9
	福寿草類飼料用種(その他)	1 3 6	8 9
	飼料用米	1 1 6	8 9
	米粉用米	1 1 5	9
	加工用米	1 1 9	9
そば	そば	1 1 7	9
	なたね	1 1 8	9
	きゅうり	2 0 0	5 7 10
	トマト	2 0 1	5 7
	なす	2 0 2	5 7
	大市なす	2 0 5	5 7
	ピーマン	2 0 3	4 7
	ししとう	2 0 8	5 7
	トウガラシ	2 0 9	5 7
	ズッキーニ	2 0 4	5 7
野菜	かぼちゃ	2 0 4	5 7 10
	くり南瓜	2 0 2	5 7
	いちご	2 0 5	5 7
	ずいか	2 0 6	5 7 11
	メロン	2 0 7	5 7
	キャベツ	2 0 8	5 7 10
	キャベツ(裏作転作)	2 0 9	
	はくさい	2 4 8	5 7 10
	はくさい(裏作転作)	2 1 0	
	きんとうまい	2 0 2	5 7
作物	ほうれんそう	2 1 1	5 7 10
	オクラ	2 0 2	5 7
	ハス	2 0 6	5 7

区分	作物等名	作物コード	整理番号
雑穀	ねぎ	2 1 2	5 7 10
	太ねぎ	2 6 3	5 7 10
	岩津ねぎ	2 6 5	5 7 10
	丹波ひかみねぎ	2 6 6	5 7 10
	たまねぎ	2 5 4	5 7 10
	たまねぎ(裏作転作)	2 1 3	
	らっきょ	2 9 1	5 7
	レタス	2 1 4	5 7
	レタス(裏作転作)	2 6 4	
	だいこん	2 5 6	5 7 10
野菜	だいこん(裏作転作)	2 1 5	
	青味だいこん	2 8 4	5 7 10
	にんじん	2 1 6	5 7 10
	にんじん(裏作)	2 8 7	
	きんとうまい	2 1 7	5 7 11
	れんこん	2 1 8	5 7
	しょうが(根ショガ)	2 1 9	5 7
	えだまめ(白大豆)	2 2 0	1 7
	えだまめ(黒大豆)	2 5 5	1 7 12
	青さやいんげん	2 2 1	5 7
その他	未成熟とうもろこし	2 2 2	5 7
	食用ばれいしょ	2 2 3	5 7 10
	食用かんしょ	2 2 4	5 7 10
	尼薩(あまいも)	2 8 1	5 7
	アスパラガス	2 2 5	5 7
	きのこ類	2 2 6	5 7
	ブロッコリー(裏作転作)	2 2 7	
	ニラ	2 2 8	5 7 10
	やまのいも	2 2 9	2 7
	未成熟そらまめ	2 3 0	5 7
雑穀	一寸そら豆	2 3 7	5 7
	しゆんぎく	2 3 1	5 7
	青さやえんどう	2 3 2	5 7
	うすいえんどう	2 3 8	5 6 7
	かぶ	2 3 3	5 7
	ごぼう	2 3 4	5 7 11
	まくわうり	2 3 5	5 7
	しろうり	2 3 6	5 7
	べっちんうり	2 8 0	5 7
	とうがん	2 8 6	5 7
作物	せりり	2 3 9	5 7
	食用なげな	2 8 3	5 7 10
	その他つけな類	2 4 0	5 7
	なたね	2 4 1	5 7
	パセリ	2 4 2	5 7
	ふき	2 4 3	5 7
	しそ	2 4 4	5 7
	なた豆	2 4 5	5 7
	うど	2 4 6	5 7
	キウイモ	2 4 7	5 7
雑穀	チンゲンサイ	2 4 9	5 7
	その他中国野菜	2 5 0	5 7
	その他野菜	2 5 1	5 7
	加工食品用ばれいしょ	2 5 2	5 7
	カリフラワー	2 5 3	5 7
	しるな	2 5 7	5 7
	こまつな	2 5 8	5 7
	みずな	2 5 9	5 7 10
	ヤーコン	2 6 0	5 7
	わさび	2 6 1	5 7
作物	せり	2 6 7	5 7
	その他増水性作物	2 6 9	5 7
	モロヘイヤ	2 7 0	5 7
	バジル	2 7 1	5 7
	ハーブ	2 9 0	5 7

区分	作物等名	作物コード	整理番号
野菜	ニンニク	2 7 2	5 7 10
	ニンニク(特産)	2 7 3	5 7 10
	みょうが	2 7 4	5 7
	ゴーヤ	2 7 5	5 7
	よもぎ	2 7 6	5 7
	わらび	2 7 7	5 7
	ごごみ	2 7 8	5 7
	施設野菜	2 7 9	5 7
	日本なし	4 0 1	
	西洋なし	4 0 2	
果	もも	4 0 3	
	うめ	4 0 4	
	びわ	4 0 5	
	かき	4 0 6	
	くり	4 0 7	
	いちじく	4 0 8	
	キウイフルーツ	4 0 9	
	ゆず	4 1 0	
	すだち	4 1 1	
	ブルーベリー	4 1 3	
樹	うんしゅうみかん	4 1 4	
	りんご	4 1 5	
	ぶどう	4 1 6	
	レモン		
	おうとう	4 1 7	
	その他果樹	4 1 2	
	花き	5 0 0	5
	若松	5 0 1	5
	花木	5 0 4	5
	種苗類	5 0 2	5
作物	芝	5 0 3	5
	ツノナス	5 0 5	5
	カーネーション	5 0 6	5
	ストック	5 0 7	5
	なたね(花)	5 0 8	5
	キク	5 0 9	5
	キンセンカ	5 1 0	
	地力増進水稲	6 5 8	
	とうもろこし(地力)	6 5 0	
	ソルガム(地力)	6 5 1	
雑穀	クローバー(アカ、シロ)	6 5 2	
	れんげ(地力)	6 5 3	
	ヘアリーベッチ(地力)	6 5 4	
	その他地力増進作物	6 5 5	
	コスモス	7 0 0	
	ひまわり(景観)	7 0 1	
	なたね(景観)	7 0 2	
	マリーゴールド	7 0 3	
	れんげ(景観)	7 0 4	
	そば(景観)	7 0 5	
景観形成作物	べにばな	7 0 6	
	チューリップ	7 0 8	
	ヘアリーベッチ(景観)	7 0 9	
	その他景観形成作物	7 0 7	

区分	作物等名	作物コード	整理番号
その他	ハトムギ	9 0 0	5
	その他雑穀	8 0 0	5
	小麦	9 0 1	3
	白小豆	9 0 5	3
	落花生	9 0 2	5 7
	その他豆類	9 0 3	5 7
	大納言小豆	9 0 4	3
	薬用作物	8 2 5	5 7
	まんねんたけ	8 2 6	5 7
	うこん	8 2 7	5 7
作物	ドクダミ	8 4 0	5 7
	カワラケツメイ	8 4 1	5 7
	その他薬用きのこ	8 2 8	5 7
	香料作物	8 2 9	5 7
	みつづれんげ	9 1 1	5 7
	みつまた	9 1 2	
	その他一般作物	8 4 8	5 7
	ひまわり	8 4 9	5 7
	藍	8 5 0	5 7
	ごま	8 5 2	5 7
水稲	こうぞ	9 1 4	
	切花用母樹	9 1 5	
	その他永年性作物	8 2 0	
	山椒	8 2 1	
	朝倉山椒	8 2 4	
	ユーカリ	8 2 2	
	たらの芽	8 2 3	
	たばこ	8 3 7	5 7
	こんにやく	8 3 8	5 7
	その他特例作物扱い	8 3 9	5
新規需要米	茶	9 3 4	
	桑	9 3 5	
	援助米	9 1 6	
	試験研究米	9 1 7	
	新規需要米(輸出用米)	1 5 4	
	新規需要米(種子)	1 5 6	
	ハイオ燃料用米	1 5 9	
	新規需要米(その他)	1 5 5	
	新規需要米(持外酒米)	1 6 4	
	加工用青刈り稲	1 5 8	
主食用水稲等	直播栽培	1 6 0	
	有機栽培	1 6 1	
	その他減収栽培	1 6 2	
	その他減収栽培(2)	1 6 3	
	主食用水稲	1 5 0	
	酒造好適米	1 5 1	
	種子生産ほ場(種子用米)	1 5 2	
	備蓄米	1 5 3	

(注意)
上記以外のコードは使用しないで下さい。